2005年3月期 決算説明会

2005年5月26日

日本光電工業株式会社

証券コード ： 6849

http://www.nihonkohden.co.jp

NIHON KOHDEN

決算の概要 (連結)

1） 当期の決算概要
2） 主な営業概況
3） 商品群別売上高
4） 地域別売上高
5） 営業利益増減の要因分析
6） 財政状態
7） キャッシュフロー
8） 設備投資と研究開発費
9） 次期業績見通し

1）当期の決算概要

（単位：百万円）

	前期 (2004/3)	当期 (2005/3)		
		予　想 (11/17発表)	実　績	増減率 (%)
売　上　高	83,133	83,000	83,807	*0.8*
営業利益	5,967	7,000	7,189	*20.5*
経常利益	5,958	7,300	7,624	*28.0*
当期純利益	3,678	6,100	6,562	*78.4*

© Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

2）主な営業概況

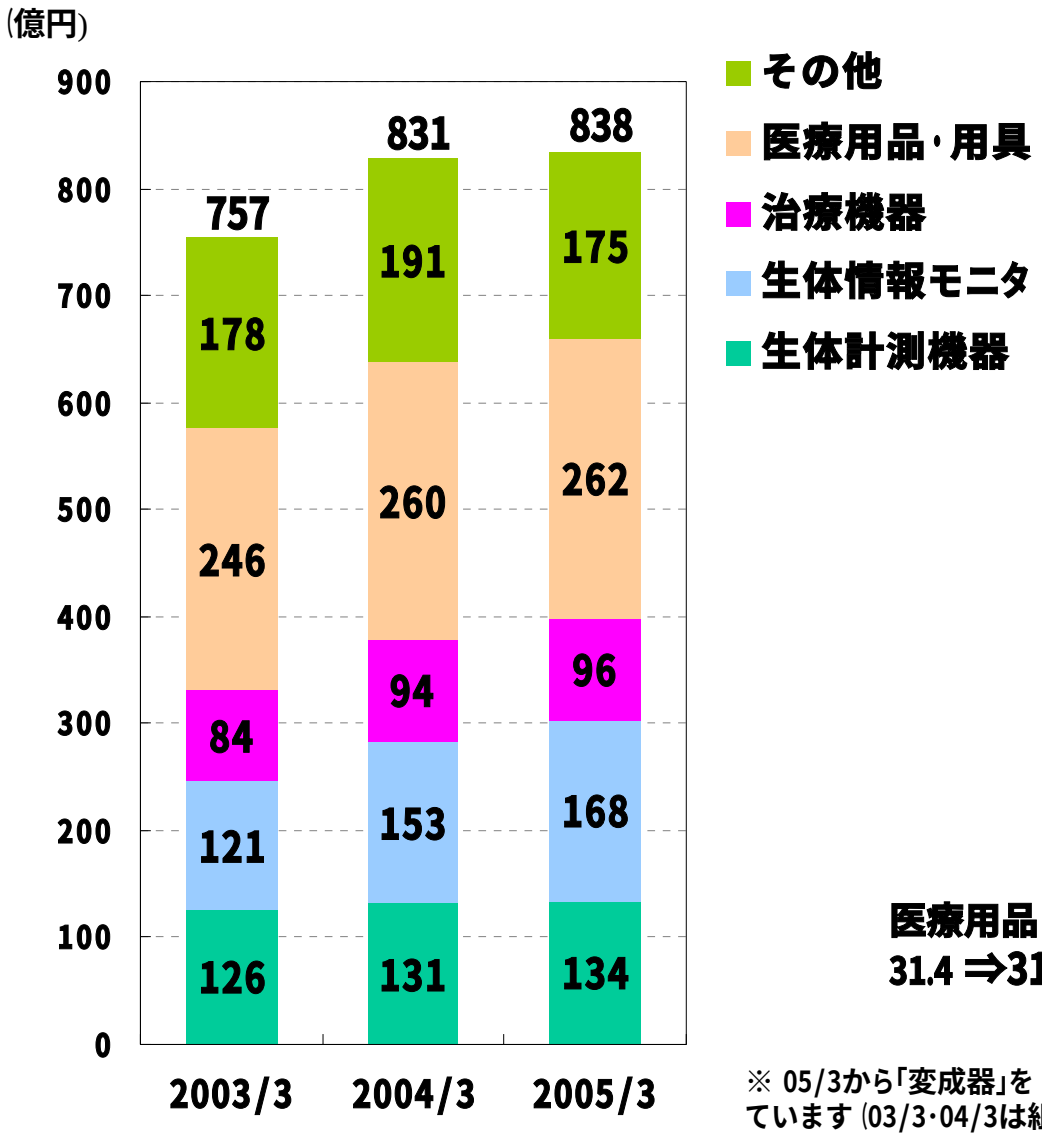
売上高・・・国内では医療制度改革の影響などで微減となり、海外では生体情報モニタなどの主力商品が好調に推移しましたが、前年比0.8％の増収にとどまりました。

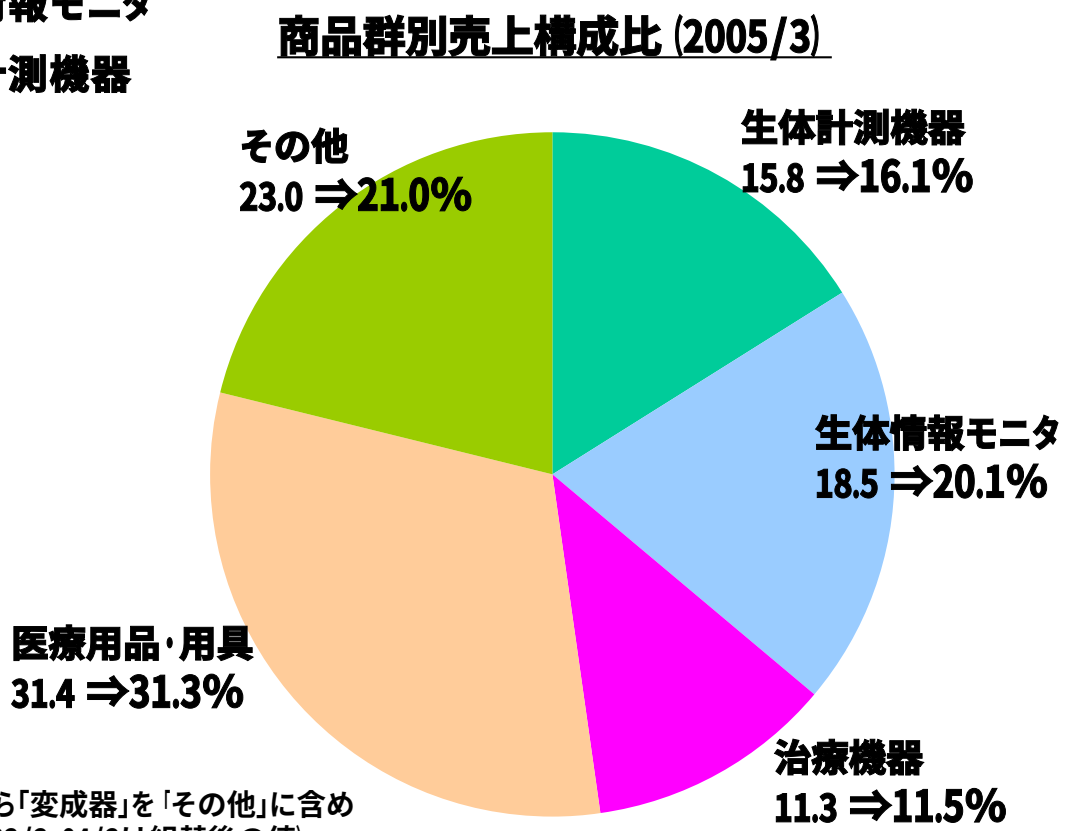
経常利益・・・原価率の改善（1.3ﾎﾟｲﾝﾄ）、営業外の為替差益（損：1.7億→益：2.3億）などにより前年比28.0％の増益となりました。

当期純利益・・・特別損益の改善（5.2億）、子会社解散に伴う法人税等の負担が大幅に減少したため前年比78.4％の増益となりました。

ⓒ Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

3）商品群別売上高構成





※ 05/3から「変成器」を「その他」に含めています (03/3・04/3は組替後の値)。

© Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

生体計測機器

脳神経系群

脳波計 EEG-1514

心電計群

心電計 ECG-1500

ポリグラフ群

ﾎﾟﾘｸﾞﾗﾌ RMC-3100

ⓒ Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

3.1）生体計測機器の売上

（単位：百万円）

	前期 (2004/3)	当期 (2005/3)	増減率 (%)
脳神経系群	5,849	6,340	*8.4*
心電計群	4,762	4,765	*0.1*
ポリグラフ群	2,500	2,385	▲ *4.6*
生体計測機器合計	13,111	13,490	*2.9*

＊海外で脳神経系群が好調でしたが、国内でポリグラフ群が減少しました。

ⓒ Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

生体情報モニタ

ベッドサイドモニタ BSM-2301

セントラルモニタ CNS-9701

ⓒ Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

3.2）生体情報モニタの売上

（単位：百万円）

	前期 (2004/3)	当期 (2005/3)	増減率 (%)
生体情報モニタ合計	15,390	16,828	*9.3*

＊国内でいわゆる電波法特需の更新によるテレメータモニタやシステムネットワーク商品などが好調でした。海外では米州で好調でした。

ⓒ Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

治 療 機 器

除細動器

除細動器 TEC-7631

ペースメーカ

心臓ﾍﾟｰｽﾒｰｶ Philos DR

人工呼吸器

人工呼吸器 サビーナ

ⓒ Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

3.3）治療機器の売上

（単位：百万円）

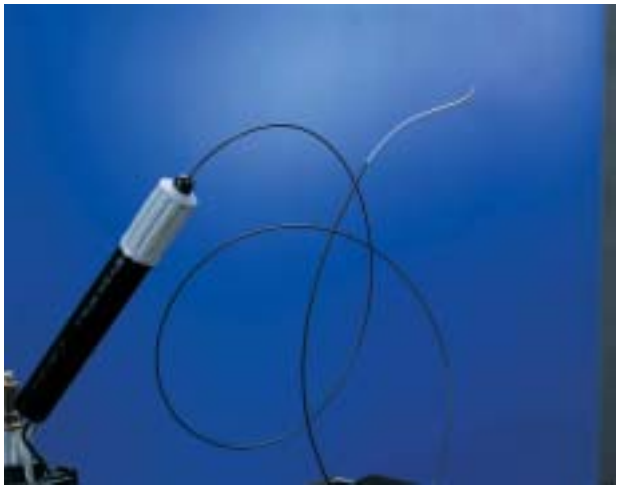
	前期 (2004/3)	当期 (2005/3)	増減率 (%)
除細動器	3,088	3,849	*24.6*
ペースメーカ	4,179	3,441	▲ *17.7*
人工呼吸器	1,850	2,171	*17.4*
その他治療器	309	187	▲ *39.5*
治療機器合計	9,426	9,648	*2.4*

＊ 国内では診療所市場を中心にAED型除細動器が好調でした。人工呼吸器も好調でしたが、心臓ペースメーカは前期を下回りました。海外では除細動器が低調でした。

ⓒ Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

医療用品・用具

電極ｶﾃｰﾃﾙ LIVEWIRE CRD-2



ﾌｨﾝｶﾞｰﾌﾟﾛｰﾌﾞ TL-201T

ﾃﾞｨｽﾎﾟ電極 N-031S3

ⓒ Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

3.4) 医療用品・用具の売上

(単位：百万円)

	前期 (2004/3)	当期 (2005/3)	増減率 (%)
消耗品	20,125	20,880	3.8
修理・保守他	5,406	5,284	▲ 2.3
レンタル他	544	92	▲ 83.1
医療用品・用具合計	26,075	26, 256	0.7

＊ 国内ではディスポーザブル電極、センサ類などの消耗品が好調でしたが、修理・保守他が減少しました。また、在宅酸素事業を04/3末で撤退したためそのレンタル売上が減少しました。　海外では消耗品が好調でした。

ⓒ Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

そ の 他

全自動血球計数器 MEK-8222

携帯型救急モニタ WEC-6003

ⓒ Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

3.5) その他の売上

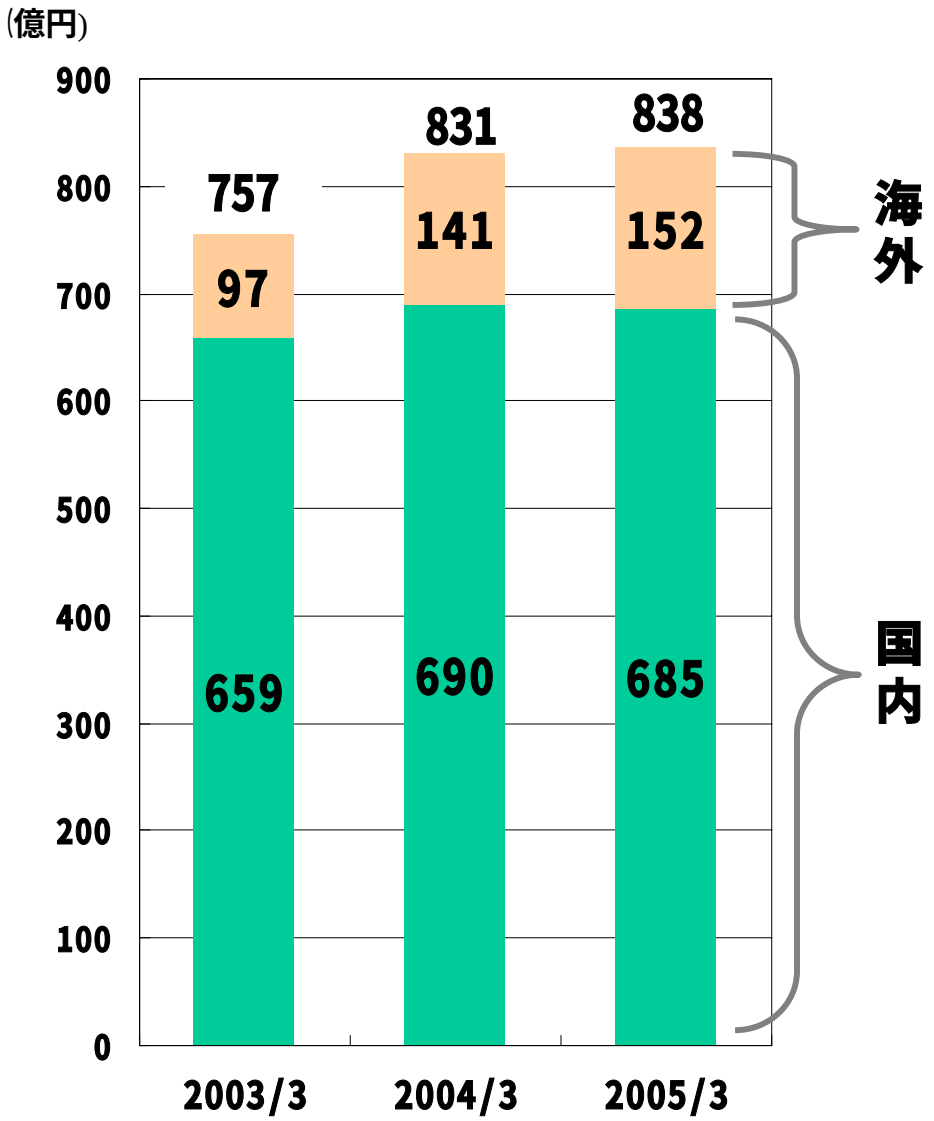
(単位：百万円)

	前期 (2004/3)	当期 (2005/3)	増減率 (%)
その他合計	19,131	17,584	▲ 8.1

＊自動血球計数器は国内で減少しました。　超音波診断装置は好調でしたが、一般仕入商品が減少しました。

ⓒ Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

4）売上高(国内･海外)



国 内

＋：生体情報ﾓﾆﾀ、AED

△：一般仕入品、ﾍﾟｰｽﾒｰｶ

海 外

＋：生体情報ﾓﾆﾀ、脳神経系群

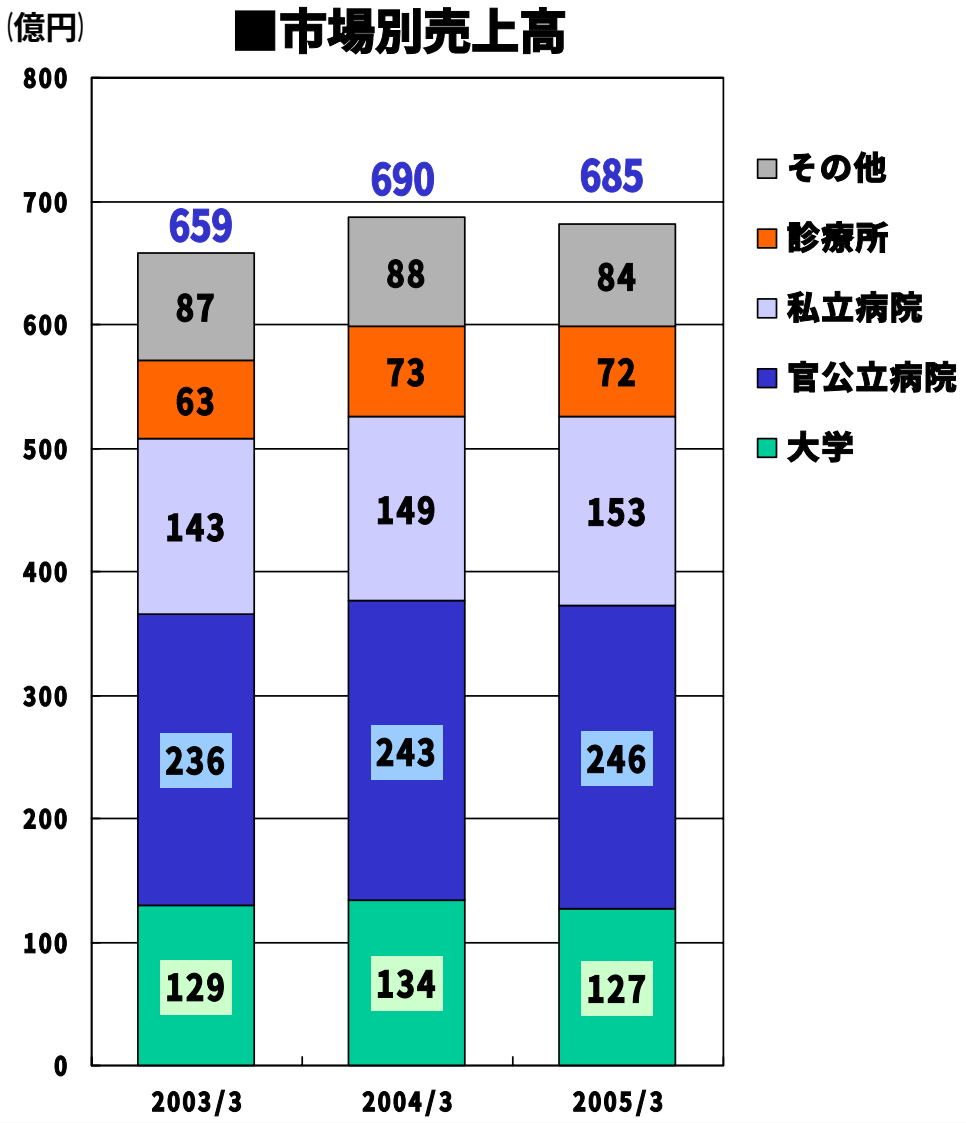
△：04/3のSARS反動

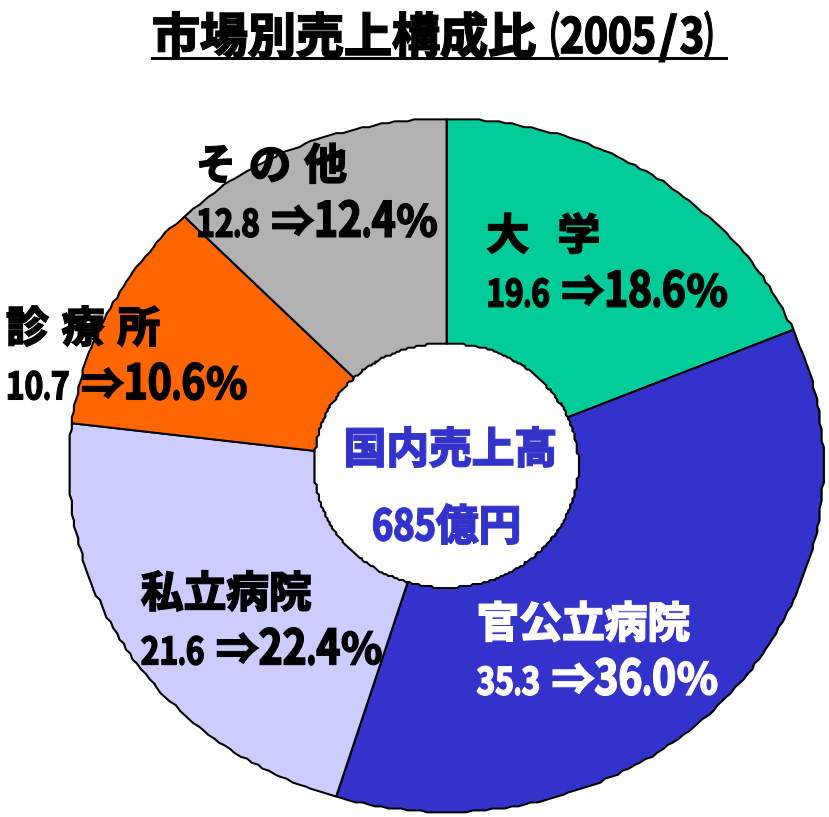
海外売上高比率

2003/3	2004/3	2005/3
12.9 %	17.0 %	**18.2 %**

ⓒ Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

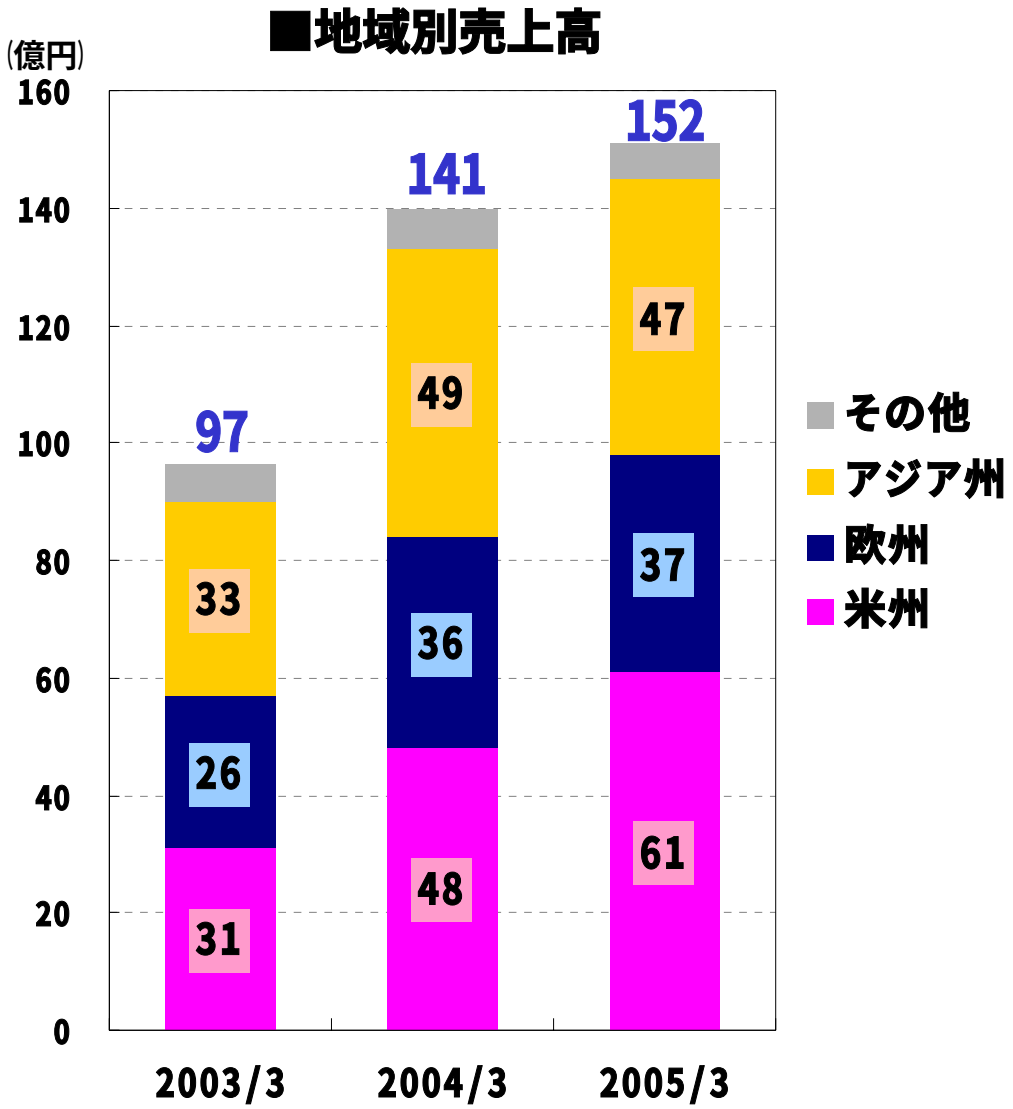
4.1) 国内売上高

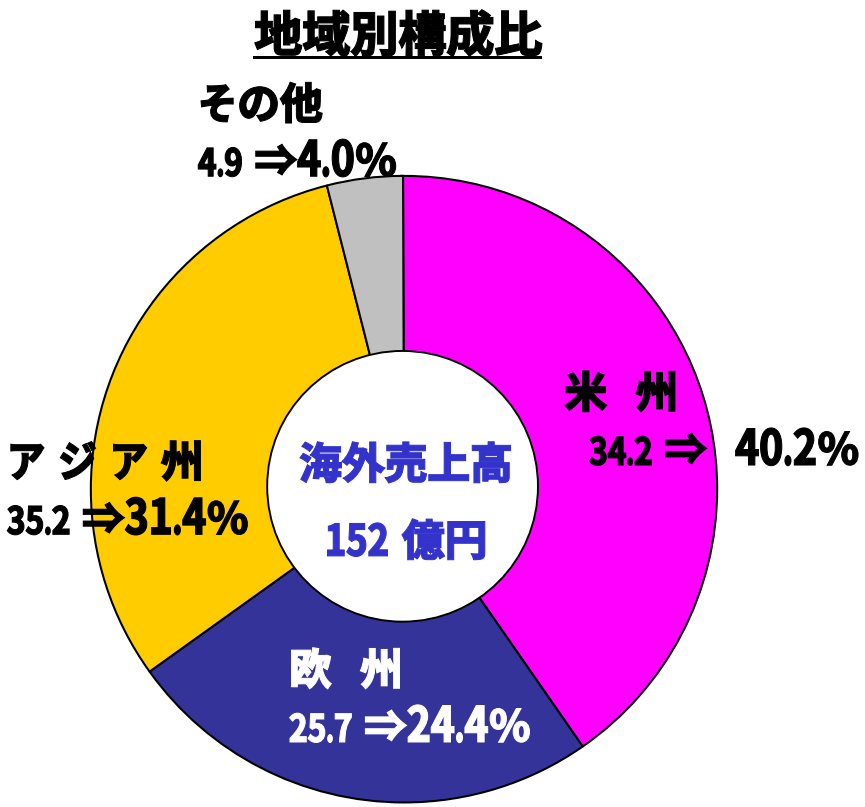




ⓒ Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

4.2）海外売上高

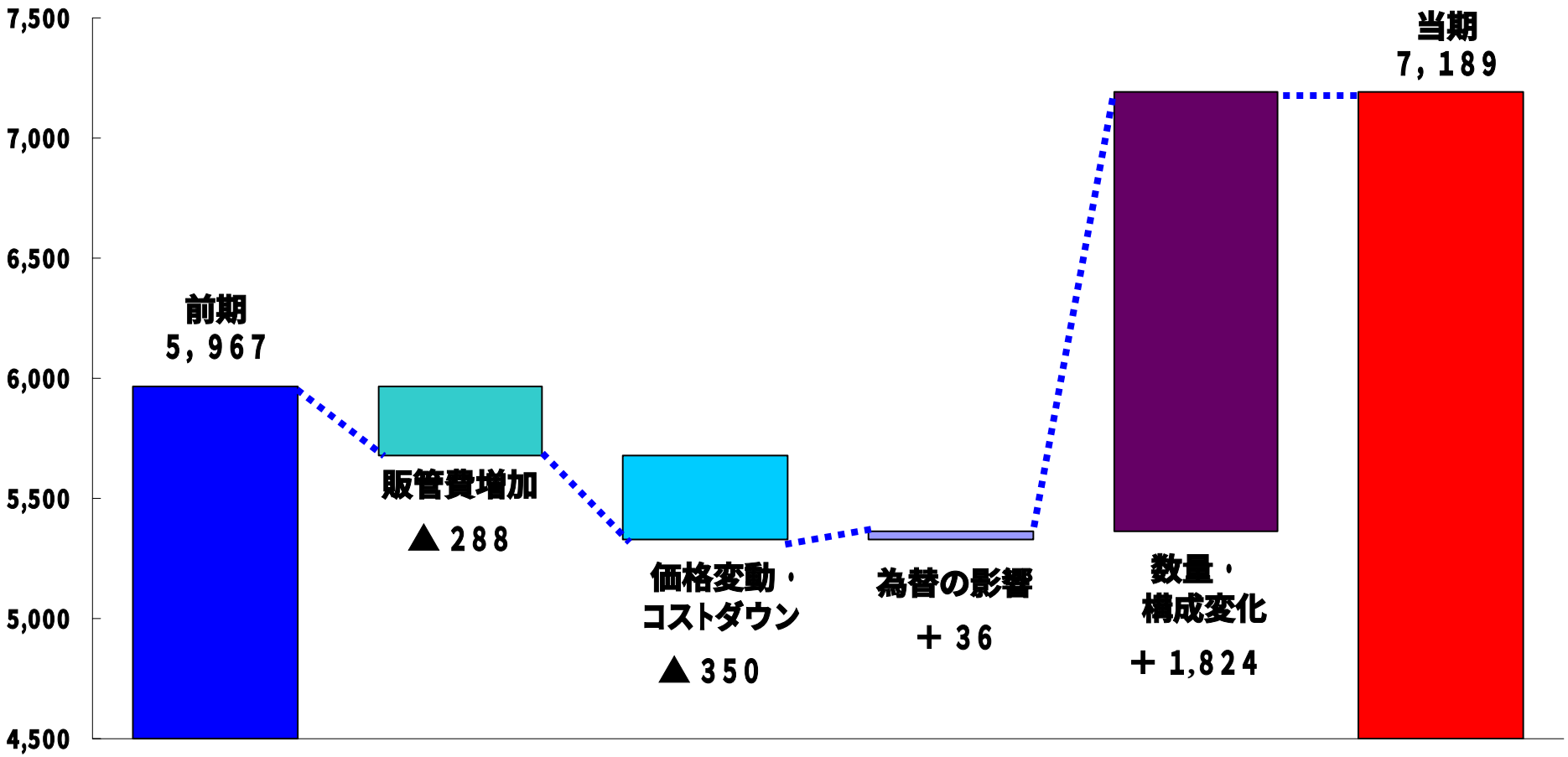




ⓒ Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

5）営業利益増減の要因分析

(単位：百万円)



ⓒ Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

6）財政状態

（単位：百万円）

	2004/3	2005/3	増減額
流動資産	51,406	53,403	*1,997*
固定資産	12,871	14,074	*1,202*
資産合計	64,277	67,477	*3,199*
流動負債	27,535	25,877	*▲1,657*
固定負債	2,026	1,185	*▲841*
負債合計	29,562	27,063	*▲2,499*
少数株主持分	255	292	*36*
資本合計	34,459	40,122	*5,662*
負債・資本合計	64,277	67,477	*3,199*

・期末の売上増加により、売上債権（受取手 形及び売掛金）が約２１億 円増加

・仕入債務（支払手形及び買掛金）は約１０億円増加

・借入金は、引き続き削減を進め約２０億円減少

・子会社清算による税金負担減等により、未払法人税等が約８億円減少

・年金資産運用環境改善により、退職給付引当金が約６億円減少

© Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

7）キャッシュフロー

（単位：百万円）

	2004/3	2005/3	増減額
Ⅰ 営業活動によるＣＦ	4,069	3,542	▲527
Ⅱ 投資活動によるＣＦ	▲1,458	▲2,100	▲642
ﾌﾘｰｷｬｼｭﾌﾛｰ（ＦＣＦ）	2,611	1,441	▲1,169
Ⅲ 財務活動によるＣＦ	▲1,625	▲3,326	▲1,701
現金及び現金同等物に係わる換算差額	▲282	290	573
現金及び現金同等物の増減額	702	▲1,594	▲2,297
現金及び現金同等物の期末残高	8,307	6,712	▲1, 594

税金等調整前当期純利益が増加したものの、退職給付引当金の減少や法人税等の支払額が増加したため

主に設備投資（固定資産の取得）による

借入金の返済による支出が増加したことや、自己株式の取得・配当金の支払いによる支出が増加したことなどによるもの

ⓒ Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

8）設備投資と研究開発費

（単位：百万円）

	前期（2004/3）	当期（2005/3）		2006/3 計画	増減額
		計画	実績		
設備投資額	1,372	2,000	2,212	2,900	＋ 353
減価償却費	1,539	1,500	1,384	1,900	＋ 516
研究開発費	4,677	4,900	4,792	5,000	＋ 208

●設備投資の実績・・・鶴ヶ島物流センタ建設
工場設備の更新
改正薬事法対応（トラッキングシステム）

●次期計画における主な案件・・・ＥＭＣサイトの増設
新製品の「型」投資

ⓒ Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

9）次期業績見通し

（単位：百万円）

（増減率）	前期実績 (2004/3)	当期実績 (2005/3)	次期予想 (2006/3)
売上高	83,133 (*9.8*)	83,807 (*0.8*)	88,000 (*5.0*)
営業利益	5,967 (*77.8*)	7,189 (*20.5*)	7,700 (*7.1*)
経常利益	5,958 (*88.1*)	7,624 (*28.0*)	7,900 (*3.6*)
当期純利益	3,678 (*76.6*)	6,562 (*78.4*)	6,000 (*△8.6*)

© Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

今後の戦略

1） 当社概要
2） ビジョン
3） 中期経営計画
4） システムソリューション
5） ＡＥＤ（自動体外式除細動器）
6） 海外販売戦略
7） サービス事業戦略

NIHON KOHDEN

1) 当社概要　1.1)　経営理念

Fighting Disease with Electronics

病魔の克服と健康増進に
先端技術で挑戦することにより
世界に貢献すると共に
社員の豊かな生活を創造する

ⓒ Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

1.2) ビジネスモデル

◆当社の事業領域◆

ＭＥ（Medical Electronics又はMedical Engineering）

トップメーカとして医療現場からの発想で患者さん･医療スタッフのためのシステムを開発･提供

◆当社の基本的なビジネスモデル◆

当社

医療の流れに沿ってトータルサポート

（各分野のＭＥ機器･システムの開発･提供）

医療の流れ

- 検査
- 診断
- 治療
- 手術
- リハビリ

市場

（国内･海外）

- 臨床医療
- 救急医療
- 在宅医療･介護
- 健康増進
- 基礎医学の研究分野
- ⋮

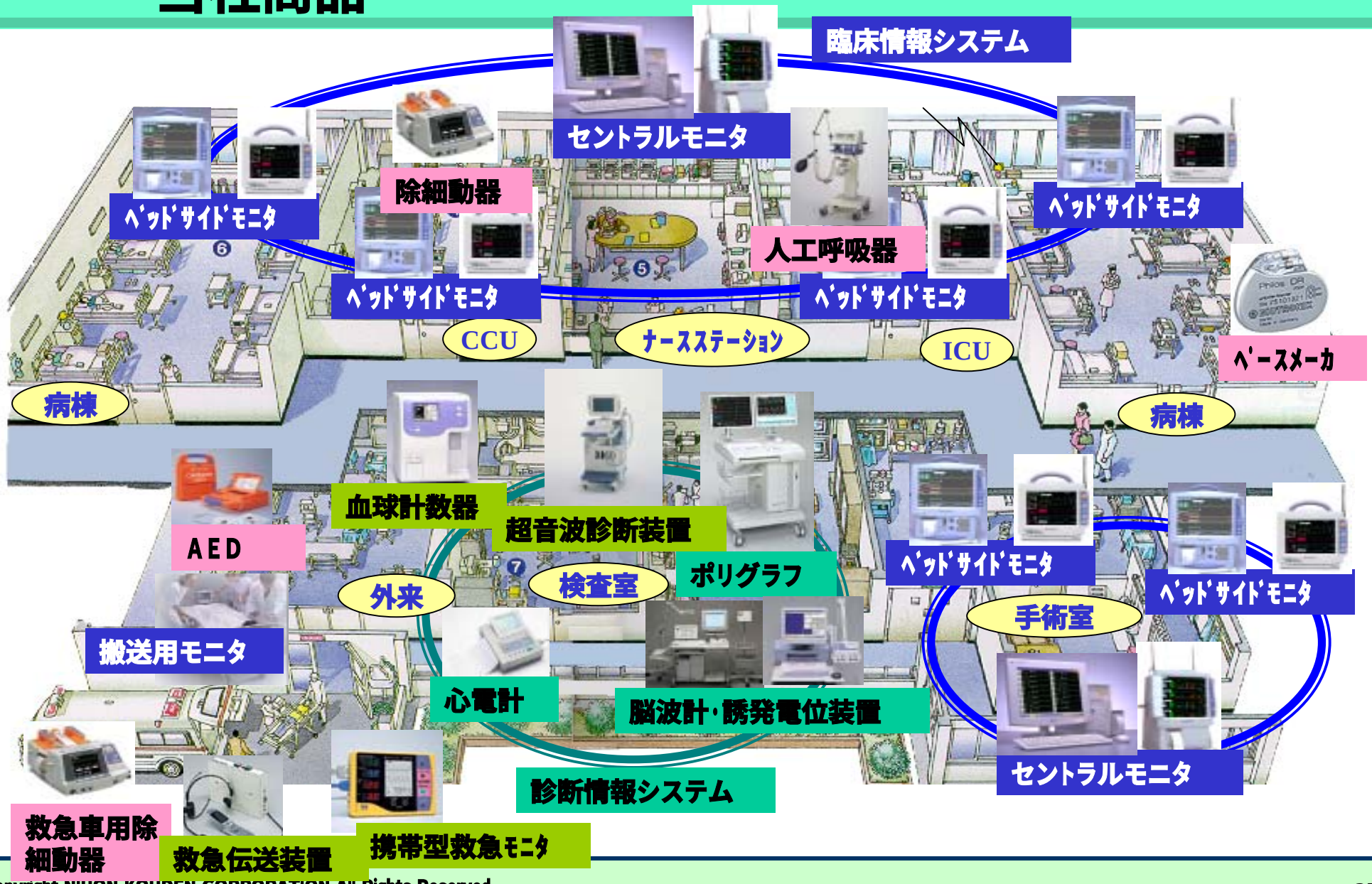
医療施設

医療施設以外の分野

© Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

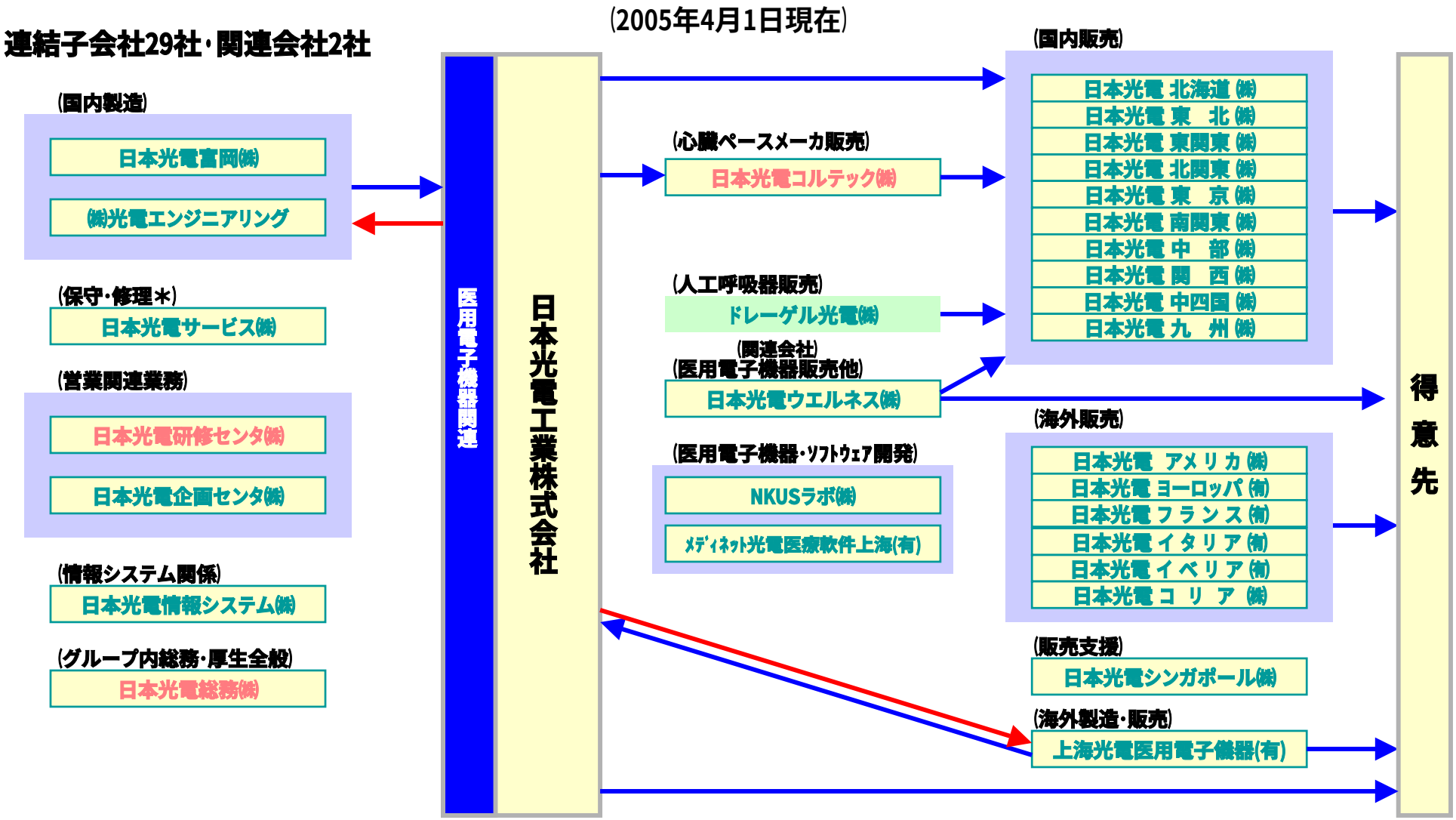
1.3) 医療現場と当社商品

生体計測機器 | 生体情報モニタ | 治療機器 | その他



ⓒ Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

1.4) グループ編成



＊2005年4月1日付で子会社「日本光電コルテック㈱・研修センタ㈱・総務㈱」とを解散し、日本光電工業㈱がその業務を引き継ぐことになります。

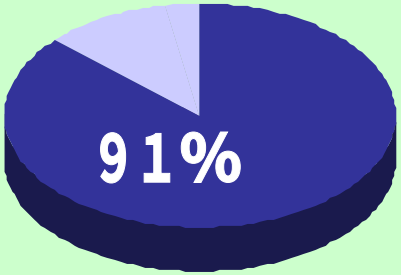
© Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

1.5) 業界ポジション

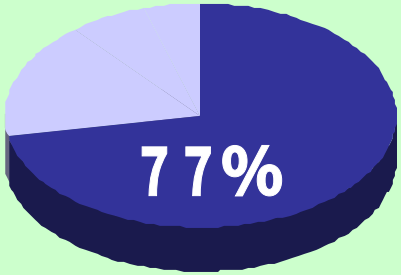
国内市場において、日本光電は、高いシェアを占めています。

生体計測機器

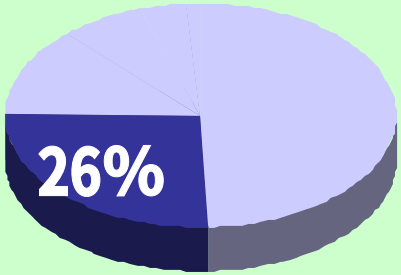
脳　波　計



誘発電位検査装置

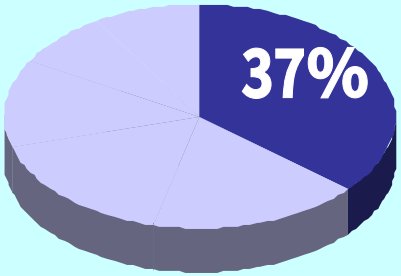


心　電　計



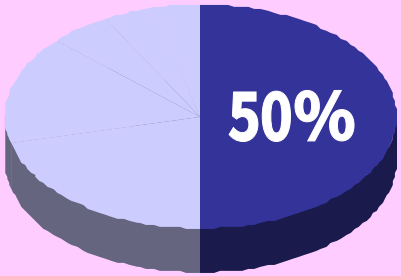
生体情報モニタ

生体情報モニタ

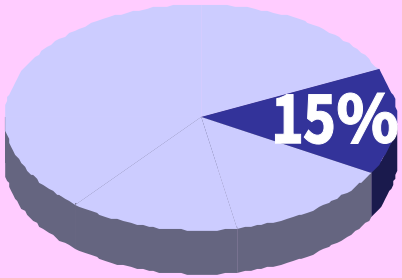


治療機器

除 細 動 器



人工呼吸器



注) シェアは生体情報モニタのみ金額ベース。他は全て台数ベース。資料は矢野経済研究所調べ (2003年度) 。

© Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

1.6) 特徴・強み①

1 世界に通じる高品質

当社の品質方針＝「日本光電の製品を買って良かったと、お客様にのちのちまで、満足していただける状態を保つこと」

2 医療現場に密着した開発力

医療現場のユーザニーズを把握し、ユーザオリエンテッドな機器・システム開発にフィードバック。
海外向けでは各国語にきめ細かく対応。

3 幅広い商品ラインナップ

幅広い分野をカバーしているため、医療のIT化に的確に対応し、患者さんの移動（救急→手術→集中治療室→一般病棟）に合わせて患者データをシームレスに提供可能。

4 強力な販売力・営業力

高度な医療知識と電子機器知識とを併せ持った営業員がトータルサポート。
→国内：120の拠点（営業所＋サービスセンタ）による地域密着の営業活動。
→海外：米国・ドイツ・シンガポール・中国など11の拠点による販売ネットワーク網。

5 充実したユーザーサポート力

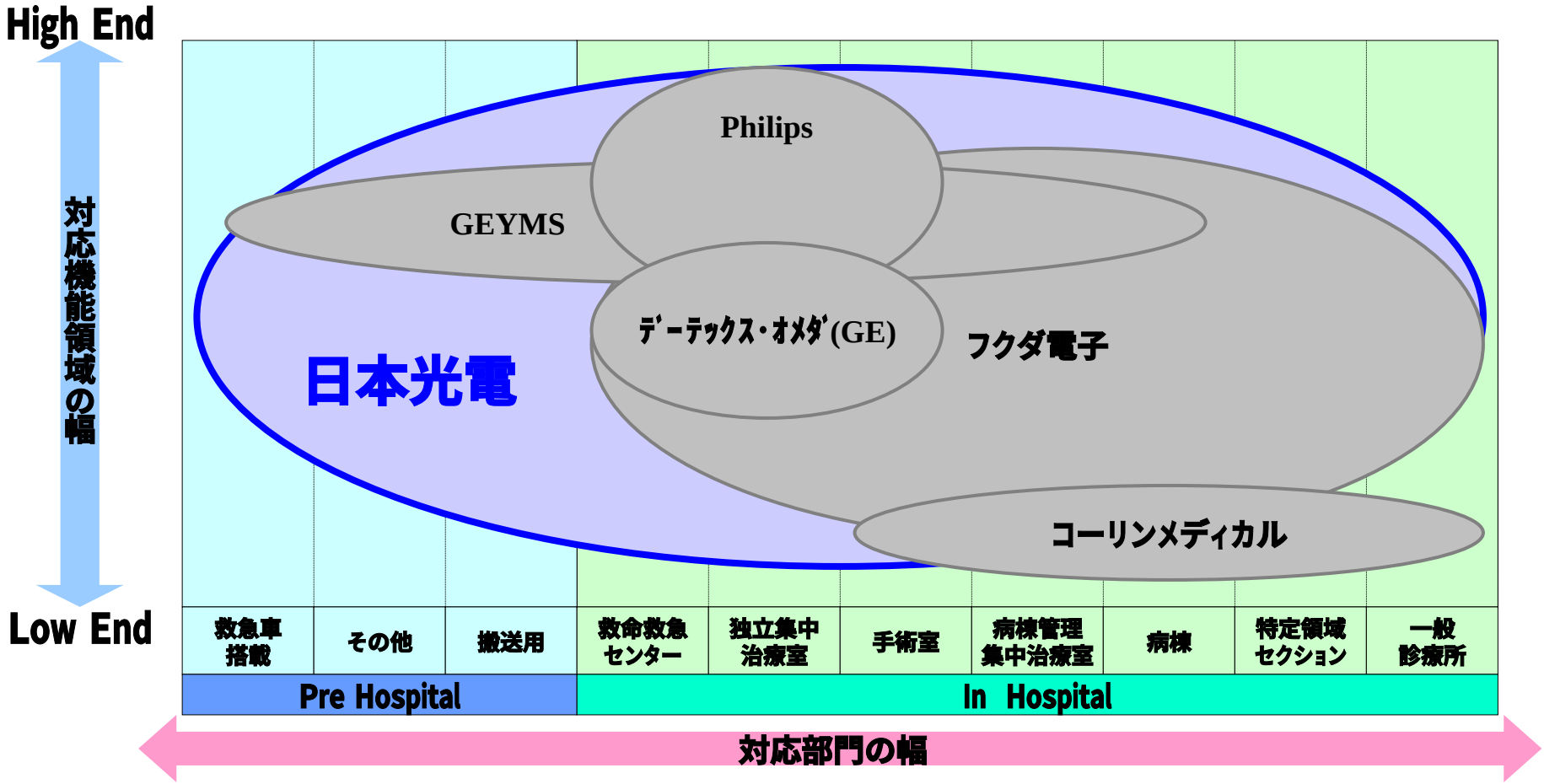
看護師、検査技師、救急隊員など機器使用者を対象に年間300回以上の各種講習会を開催（年間受講者数は約12,000名）。

ⓒ Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

1.7）特徴・強み②

幅広い商品ラインナップ：「生体情報モニタ」分野における事例

各部門で、ハイエンドからローエンドまで幅広くカバー



ⓒ Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

2）ビジョン

医用電子機器メーカとしての
グローバルブランドを確立する

2009年度までに

売上高　1,000億円

経常利益　100億円

海外売上高比率　25%

を目指す

ⓒ Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

3）中期経営計画

（単位：億円）

	2004/3 (実績)	2005/3 (実績)	2006/3 (予想)	中期計画 (2007/3目標)	3ヵ年 伸び率
売 上 高	831 億	838 億	880 億	930 億	12%
海外売上高比率 (%)	17.0 %	18.2 %	19.5 %	20.5 %	—
経 常 利 益	59 億	76 億	79 億	80 億	34%
売上高経常利益率 (%)	7.2 %	9.1 %	9.0 %	8.6 %	—
ROE (%)	11.3 %	17.6 %	—	12.0 %	—
在庫削減額 (在庫高)	135 億	146 億	—	95 億	▲40億

※ 2004/3において策定した 3カ年計画

© Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

3.1）経営方針

ビジョン

医用電子機器メーカとしての
グローバルブランドの確立

経営方針

② 顧客の信頼の確立
③ 独創的技術･商品の開発
④ 事業の重点展開と世界市場の攻略
⑤ 事業国際化の推進
⑥ 新事業への展開
⑦ 業務機構の改革
⑧ 全員参加による事業運営
⑨ コンプライアンスの推進

ⓒ Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

3.2）商品戦略

技術の強化・再構築

- 信号処理技術
- センサー技術
- 医療情報システムのソフトウェア
- 疾病に着目した商品
- バイオ関連商品
- 治療機器

医療制度改革に対応した商品開発

- 診療所･新市場向け商品
- 医療機関の経営的アウトカムを支援する商品

その他

- 輸出商品群の拡大
- 開発スピードの迅速化と市場価格に対応するコストダウン対策
- 顧客の視点に立った付加価値を創造する開発
- マーケットリーダの確立を目指した導入商品の拡充

ⓒ Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

3.3) 国内販売戦略

急性期病院市場
▼
シェア拡大

- 麻酔科の攻略
- プレホスピタル市場への展開強化
  →救急医療体制充実に対応
- 循環器分野の継続的強化
- 検査機器市場への展開強化
  →システムソリューション・ニーズへの対応

診療所市場・新市場
▼
事業拡大

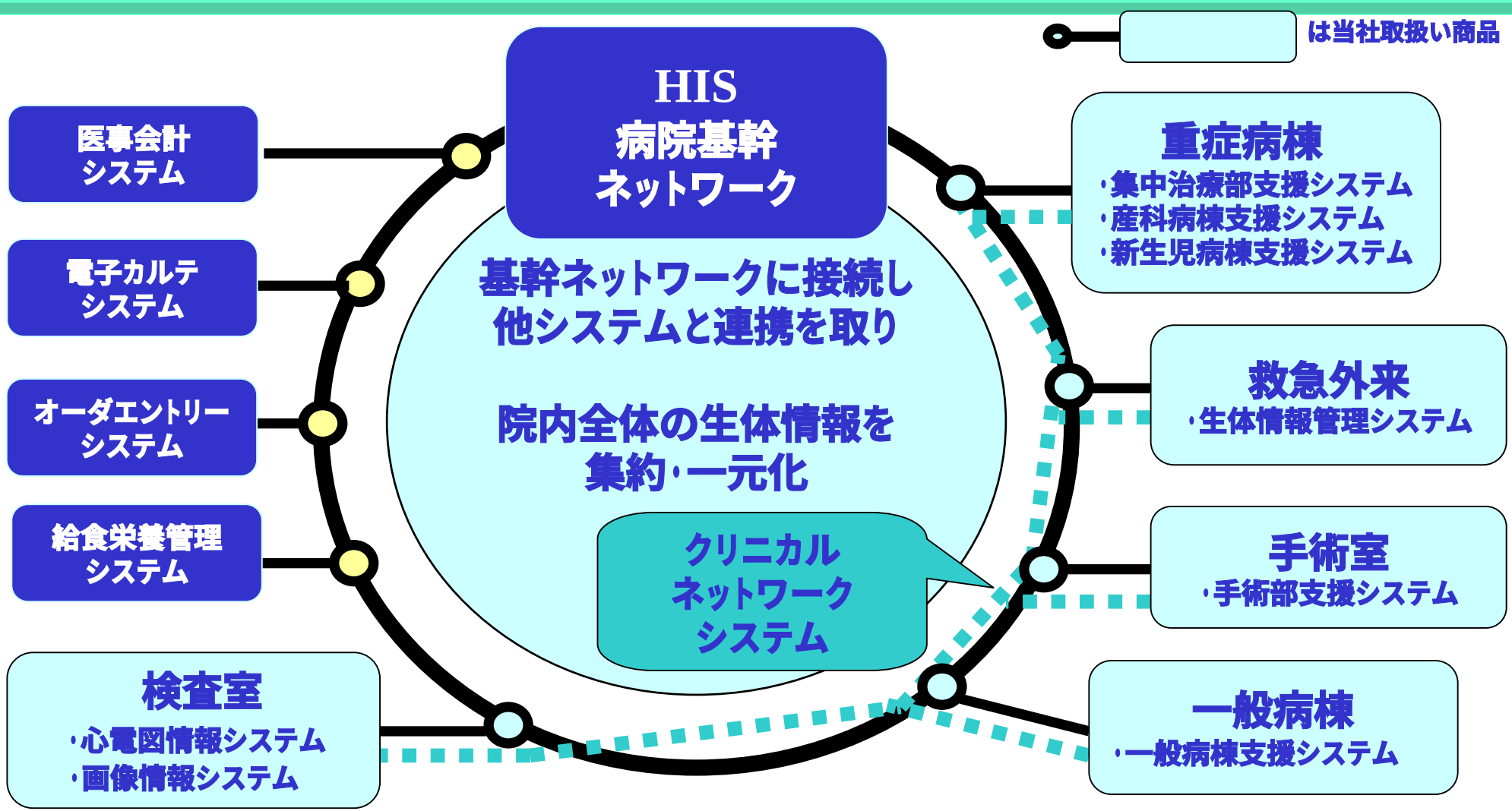
- 急成長分野である「診療所市場」への販売強化
  →システム商品によるモダリティの拡販
- 新市場への事業拡大
  →ＰＡＤ（Public Access Defibrillation／一般市民による除細動）市場
  →慢性期病院市場、介護市場、生活習慣病予防・治療市場
  →感染症対策商品　等

強み・独自性の強化
▼
新ﾋﾞｼﾞﾈｽﾓﾃﾞﾙ構築

- 医療機関連携を支援するビジネスモデルの構築
  →広範囲にカバーする強みを活かした独自展開
- 商品納入後のランニング事業の拡大
  →修理・保守サービス事業
  →消耗品ビジネス　等

© Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

4）システムソリューション（病院向け）



診断情報システム

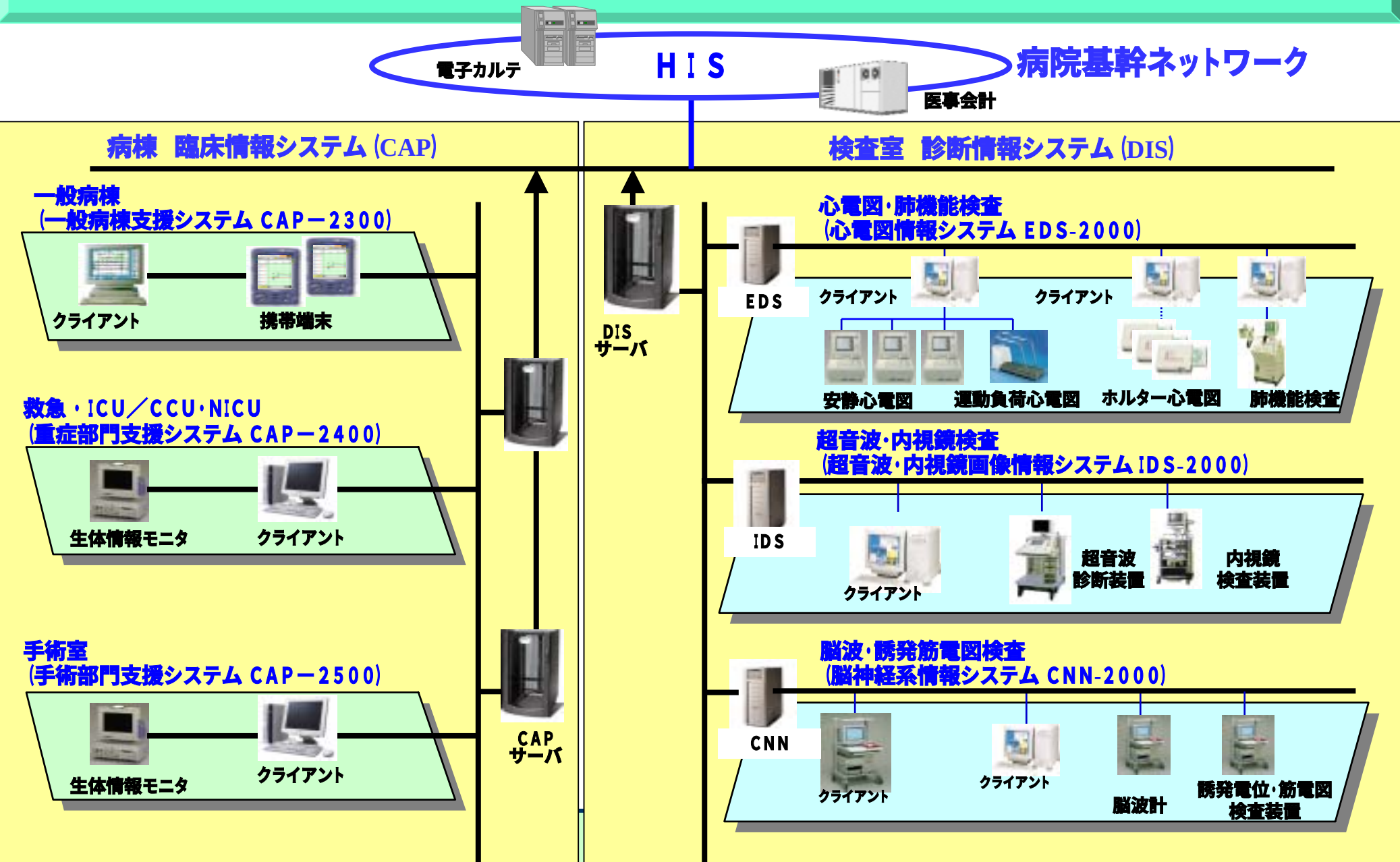
心電図，脳波，超音波や内視鏡等のデータを収集・管理

臨床情報システム

生体情報モニタや人工呼吸器等のデータを収集・管理

© Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

4.1）当社システム商品


電子カルテ
HIS
病院基幹ネットワーク
医事会計
病棟　臨床情報システム(CAP)
検査室　診断情報システム(DIS)
一般病棟
(一般病棟支援システム CAP－2300)
クライアント
携帯端末
救急・ICU／CCU・NICU
(重症部門支援システム CAP－2400)
生体情報モニタ
クライアント
手術室
(手術部門支援システム CAP－2500)
生体情報モニタ
クライアント
CAP
サーバ
DIS
サーバ
心電図・肺機能検査
(心電図情報システム EDS-2000)
EDS
クライアント
クライアント
安静心電図
運動負荷心電図
ホルター心電図
肺機能検査
超音波・内視鏡検査
(超音波・内視鏡画像情報システム IDS-2000)
IDS
クライアント
超音波
診断装置
内視鏡
検査装置
脳波・誘発筋電図検査
(脳神経系情報システム CNN-2000)
CNN
クライアント
クライアント
脳波計
誘発電位・筋電図
検査装置

4.2) システムソリューション (診療所向け)

診療所業務支援システム
Prime Park

レセプト
コンピュータ

電子カルテ
システム

検査データベースと
インフォームドコンセント
のための
コミュニケーションツール

心電図検査
- 心電計
- ホルター心電図

検体検査
- 自動血球計数器
- CRP測定器

画像診断
- デジタルX線画像
- 超音波画像
- 内視鏡画像

オフライン入力
- テキスト，数値キー入力
- イメージスキャナー取込み
- 生化学検査データ

5) AED

～Automated External Defibrillator～
自動体外式除細動器

心室細動

正常心電図

除細動器

一般人の使用「免責」

救命率向上へ普及促す

厚労省検討会が報告書案

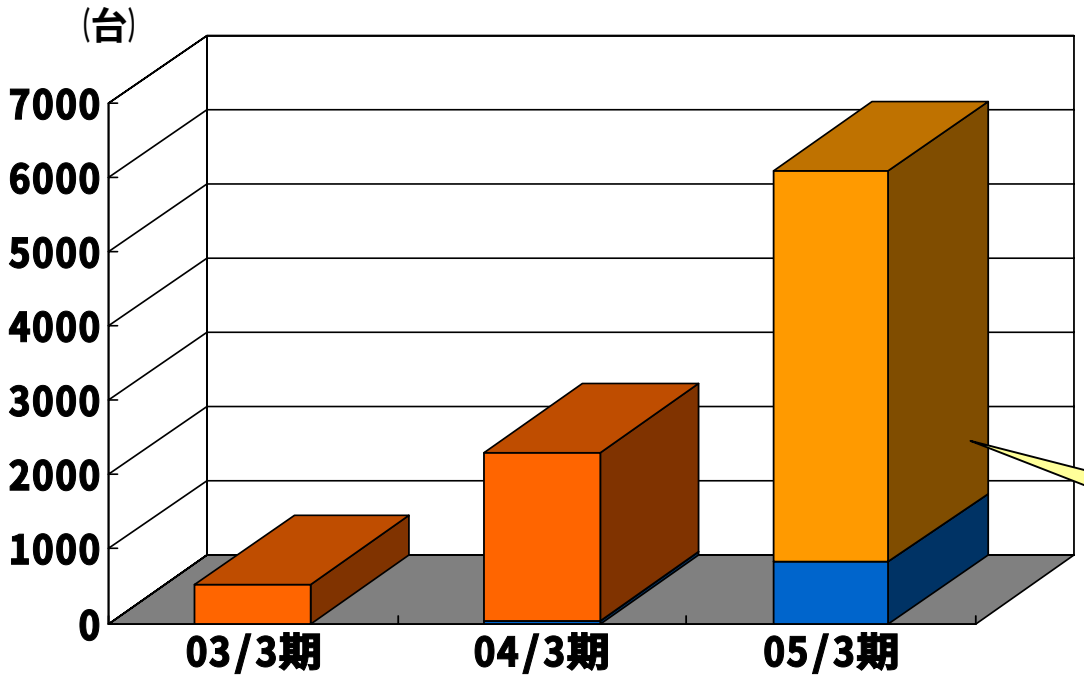
2004/5/28

日本経済新聞

PAD（Public Access Defibrillation /
一般市民によるAEDを用いた除細動）

ⓒ Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

5.1）AEDの販売実績



AED販売台数

うちPAD市場への販売台数

PAD（Public Access Defibrillation / 一般市民によるAEDを用いた除細動）

対前期2.6倍の大幅な伸びとなった販売台数

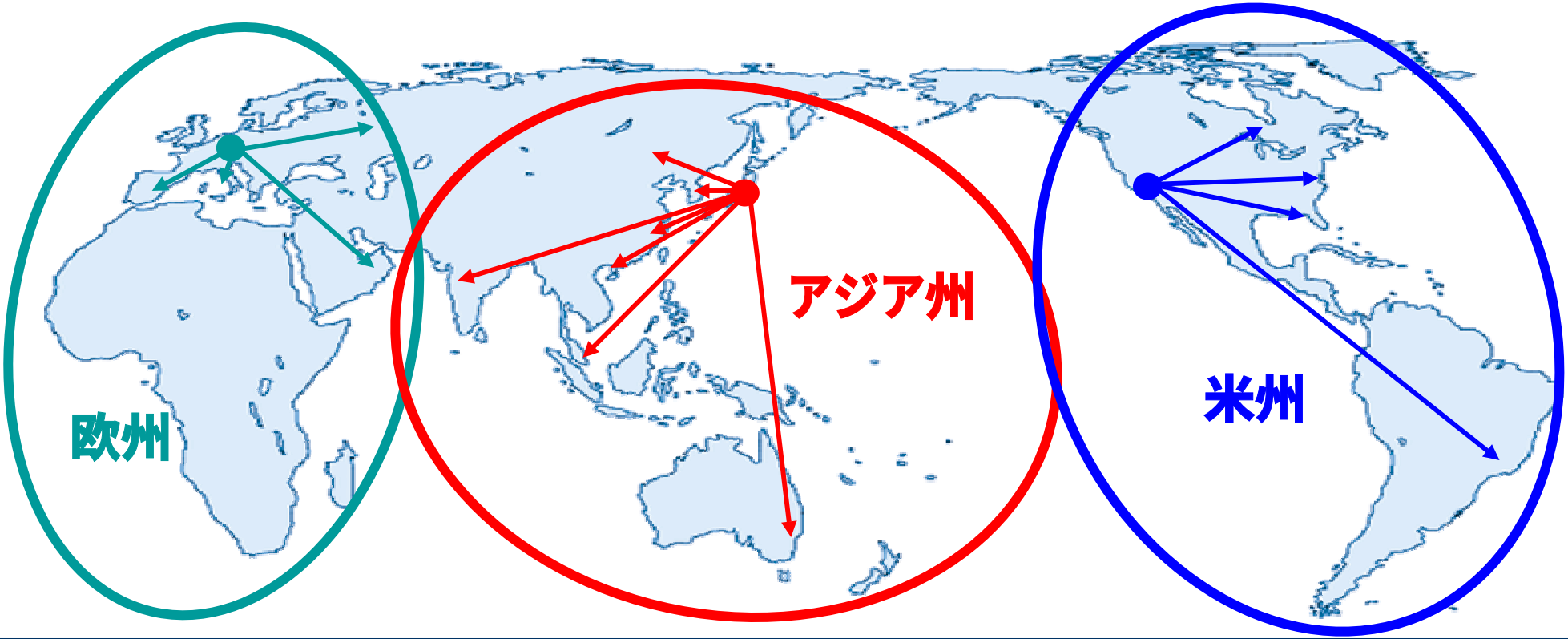
- 05/3期のAED販売台数は約6,100台
- 02/5発売以来の累計台数は約8,900台
- 05/3期のPAD市場への販売台数は約800台

© Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

6）海外販売戦略

海外事業の拡大とグローバルブランドの確立を目指し
販売･サービス体制とセールスプロモーションを強化

3極体制網		
直轄販売網･代理店網の整備	アフターサービス体制の強化	メディアミックスによる宣伝強化



ⓒ Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

6.1）海外販売拠点の拡充

欧州

1985/ 2　日本光電ヨーロッパ

2001/ 2　日本光電イタリア
2003/ 4　日本光電イベリア

2004/11 日本光電フランス

アジア州

1990/ 2　上海光電医用電子儀器
1996/ 2　日本光電シンガポール
2001/12　北京駐在員事務所
2004/ 4　日本光電コリア
2004/10　上海駐在員事務所
2005/ 3　広州駐在員事務所

米州

1979/11　日本光電アメリカ

2004/4　中南米駐在員事務所

© Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

7）サービス事業戦略

継続的安定収入である「サービス事業」分野の拡大強化

●顧客満足を高める「修理・保守サービス事業」の体制強化
→サービス統括会社への全国10社合併
→コールセンタの機能強化

●消耗品ビジネスの拡大とコストダウン

●国内外アフターサービス体制・物流の整備

ⓒ Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

この資料に記載されている業績予想数値は、当社及び当社グループ会社の事業に関連する業界の動向、国内外の経済情勢、各種通貨間の為替レートの変動など、業績に影響を与える要因についての現時点で入手可能な情報を基にした見通しを前提としております。同数値は、市況、競争状況、新商品導入の成否など多くの不確実な要因の影響を受けます。
従って、実際の業績は、この資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

【担当部署】経営企画室
【連 絡 先】TEL03-5996-8003

NIHON KOHDEN